

Q 6. Q 5で「見づらい」と回答した方にお尋ねします。なぜそのように感じましたか。
(自由に記載してください)

Q 7. 現在の洪水ハザードマップは想定される浸水深(※1)を段階別に色分けし、水害ハザードマップ作成の手引き(国土交通省)に示された標準の配色(※2)としていますが、見づらいという意見も寄せられています。次の4つの配色のサンプルから一番見やすいと感じるものをお選びください。(○はひとつ)

※1: 浸水が発生した際の水面から地面までの深さ

※2: 色覚障がいのある方に配慮した上で浸水深の深さに応じて危険度の高い配色(黄→赤→紫)としたもの)

1 水害ハザードマップ作成の手引きに示された標準の配色(現行と同じ)



2 標準の配色のうち、判別しづらい0.5m~3.0mの区分の色を除いた配色



3 標準の配色を基本として、明るさを低めにし、色の違いを強調した配色



4 青色を基調とした配色



Q 8. 新しいハザードマップにおいて、特に知りたいと思う情報を教えてください。(○は3つまで)

1. 自宅付近の水害リスク
2. 自宅付近の避難所
3. 水害時の避難行動
4. 日頃の水害対策
5. 土砂災害への備え
6. 落雷・突風への備え
7. 台風・大雨の基礎知識

8. 地震への備え
9. 雪害への備え
10. 停電への備え
11. 災害情報の入手方法
12. 地域での防災活動
13. 避難行動要支援者名簿
14. 妊産婦の災害対策

15. 高齢者の避難対策
16. 障がい者の避難対策
17. ペットの避難対策
18. 避難時の非常持出品
19. 家庭での備蓄品
20. その他

Q 9. 新しいハザードマップに対して期待すること、ご意見等があれば記載してください。(自由に記載してください)

(質問は終わります。ご協力ありがとうございました。)